

# クラブ

みんなの県政



# 愛と繁栄の県政



植物の役割はなんだろう…と 県内に続々と誕生する緑の少年団員と楽しく語る中田知事



親と子の語らいや近隣同志の助け合いというコミュニケーションの中に 現代が求めるコミュニティが育つていく



高齢者を中心にゲートボールが流行 健康にもつながるが〈新しい友達や話し相手ができるので…〉が本音らしい

## ごあいさつ

80年代は、内外の諸情勢から激動の年代の様相が如実になる感が強くなってきました。

こうした時代に対処するために、富山県の持つ個性と特性を生かしながら、自然、文化、経済活動等の調和のとれた、快適で活力に満ちた地域社会を築く「愛と繁栄の県政」を基調とした施策を推進しなければならないと考えております。

また、これからの時代は、既成理念にとらわれることなく、新たな発想を喚起して、いま、《100万県民にとって本当に必要なものは何か》を、県民1人1人が真剣に考え、県民の英知と努力を結集して、1歩1歩着実に前進することが大切であります。

この小冊子が、こうした時代の思惟への参考となれば幸甚であります。

昭和55年4月1日  
富山県知事 中田幸吉



表紙  
ワーツこわい!  
早く登れッ!  
元気な子どもらは  
ずむ声は自然にこ  
だまして……  
(東福寺野公園のア  
スレチック広場)



肢体のハンディキャップを克服して 子供たちは明るく元気に生きる (一日所長(みんなの県政推進事業)から激励される高志学園の良い子たち)



教育 研究 診療の3つの機能を持ち 和漢診療室やコンピューターによるカルテの集中管理など 全国に先駆けた設備を誇る(国立富山医科薬科大学) に対する県民の地域医療への期待は大きい

### 「健康」で明るい毎日を

近代医学は治療面ばかりでなく、病気の早期発見、予防、リハビリテーション、さらには積極的な健康増進にいたるまで、その領域を広げています。  
 辞書等にもみる健康とは、すこやかなこと。無病。達者。丈夫。壮健とあります。  
 豊かで明るく、文化的で創造性に富む家庭を築きたいという願望をかなえるのは「健康」そのものです。  
 そして そこには(心の健康)も共に培われるのです。

全身断層撮影装置や無菌室など最新鋭の機器を備え 優秀なスタッフが24時間体制で きょうも県民の生命を守る(救命救急センター)



お年寄り自身の手で生きがいをつくろうと企画された第1回老人若返り祭 親・子・孫の三世交代の輪が会場いっぱいにはりあった





居住空間は生活の原点 よりよい環境づくりが積極的にすすめられている

### きめ細かい物価への対応

卸物価の上昇は消費生活を圧迫しないかと心配される現状にあります。

より豊かで安定した県民生活を築くには、生活環境の整備はもとより、生活の基本的課題である物価の安定こそ肝要です。

物価に対する知識と認識を深める〈県政物価バス〉の開設をはじめ、需給動向の把握、物価監視など、消費者保護施策を積極的に進めていきます。

物価の動き 需給の動向 物価Gメンの監視の目の背景には 県民の生活がある



かんがい 都市用水など水資源の有効利用を図る熊野川ダムは 58年度完成予定



水は貴重な資源 かんがい 発電 工業用水 上下水道などその活用範囲は広い 水はみんなのもの 大切にしたい



緑につつまれた「ふるさと」をと 植樹に汗を流す「緑の少年団」



自然との調和を図りながら 婦中町の丘陵地に建設された県民の別荘地「いこいの村富山」。

合掌の里 平村にオープンした国民宿舎「五箇山荘」 自然とのふれあいを求めて家族連れやグループの訪れが多い



## 「やすらぎ」と

### 「うるおい」ある生活を

私たちの生活に《やすらぎ》と《うるおい》を与えてくれる「緑豊かな自然」。

この自然を守り育て活用していく「情操豊かな県民」。

ふるさとの美しい自然や貴重な文化財に親しみ、芸術にふれ、ゆとりある人生をと自己研さんの場を求める県民が増えていきます。



県民の1人1人が県政の主演 県政を膚で知ってもらおうと開かれる県民の《1日所長》は 県政推進に大きな役割を果たしている

生涯教育の提唱には県民の関心が高まり 県内各地で開かれる各種講座には明日への活力がみなぎっている



県の施設や事業を直接見学してもらう《県政バス教室》には毎年多くの方々に参加 夏休みの県政親子バス教室もなかなか好評





金山康喜「静物」65×100(cm)



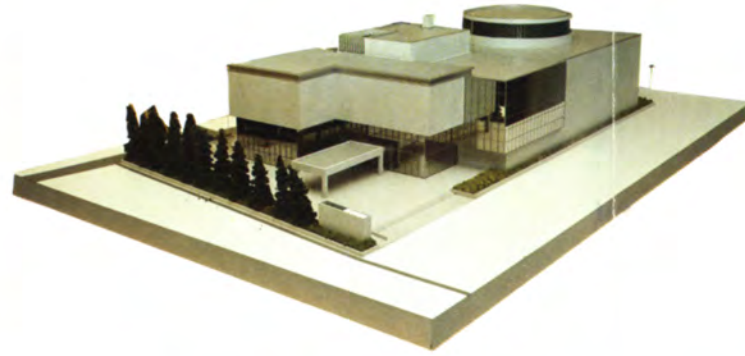
浜口陽三「さくらんぼ」11.5×11.5(cm)



パブロ・ピカソ「肘かけ椅子の女」81×65(cm)

110万人の財産 県立美術館  
生活の中に豊かさと潤いを求めて

県立美術館完成模型



マックス・エルンスト「森と太陽」73×92(cm)



ジャコモ・マンズー「着衣の少女」  
116×148×99(cm)



マルク・シャガール「山羊を抱く男」72×57(cm)

# 愛と繁栄 富山県に繁栄をもたらす

高福祉社会の建設を進めるうえでの根幹となる諸産業は、現在の厳しい諸条件に対応しつつ、高付加価値化、技術集約化、多様化する需要等への対応を図らなければなりません。  
一方、若者の定着化、就業の安定、雇用機会の創出拡大、所得水準の向上を果す必要があります。

米づくりを主体としながらも 農業の調和ある生産体制を確立するために 技術水準の高い中核的農家の役割が大きい



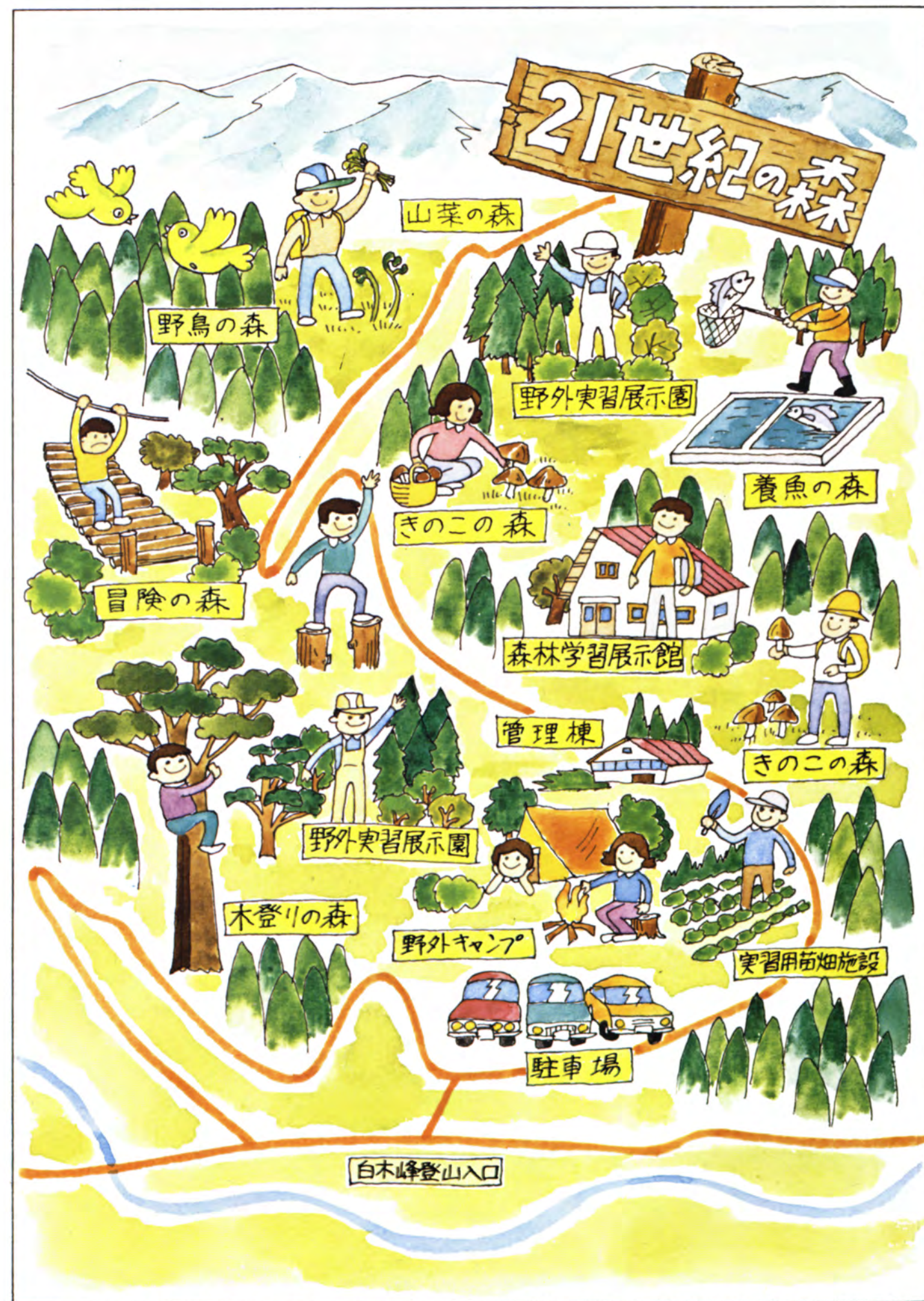
散居村として名高い砺波平野は 整備されたほ場が続く県内数々の食糧産地である

## 定着させよう集団転作

本県農業は、立地条件に合わせて、うまい米づくりを基調とし、農家の理解と協力を得ながら大豆、麦、野菜、飼料作物等、総合自給率向上をめざしています。集団転作の定着化、農地の高度化対策を進め、一方、技術指導はもちろん流通販売経路の整備を図っています。



畜産物に理解をと開かれた「もうもう祭り」。集まった子供達は 広々とした牧場で喜々として給筆をはしらせる



森林を木材生産の場としての役割から観光 レクリエーション さらには人間らしい生活を営む場としても利用しよう それが(21世紀の森)であり 構想は大きくクローズアップされてきた=八尾町大長谷杉ヶ平(白木峰周辺)に建設=

自然との調和を基本とする林間工業公園をめざし 内陸型工業の誘致を図る〈八尾中該工業団地〉建設事務所では工事着工へ向けて準備に忙しい



情報収集いかに 企業経営に大きく作用する時代 大都市との情報ギャップの解消を図るため 産業情報センターをはじめ3情報センターが富山商工会議所のワンフロアにオープン



### 80年代に対応する産業基盤を

県内の中小企業に、生きた情報をと昨年開設された情報センターをはじめとする3つの情報機能が果たす役割は大きく、ますます複雑化する経済環境に対応する努力が続けられています。

各種融資制度を拡充し、企業の体質改善を図る一方、雇用の安定策を打ち出し、年間を通して観光客が訪れるよう、また、物産の販路拡張を図る等、新しい時代に向って県内諸産業発展への対策を推進します。

### 新しい交通体系への始動

4月に北陸自動車道が米原で名神につながり、国内の高速道に連結するなど、行動圏が拡大し、いよいよ高速大量輸送時代に入りました。富山-新潟間の完工にも拍車がかかり、東海北陸自動車道建設も着々と進められています。

県民待望の北陸新幹線着工、富山空港拡張整備も精力的に推し進められ、新しい交通体系が始動しています。



社会活動の広域化により航空需要が増大 富山空港の拡張整備がいそがれている



北陸の大動脈ともいえる北陸自動車道は いま 一路新潟県をめざし工事が進められている



県民の 足ともいえる道路の整備は 着々とすすめられている 難所の五箇山地方にも飛越峡谷掌ラインが完成

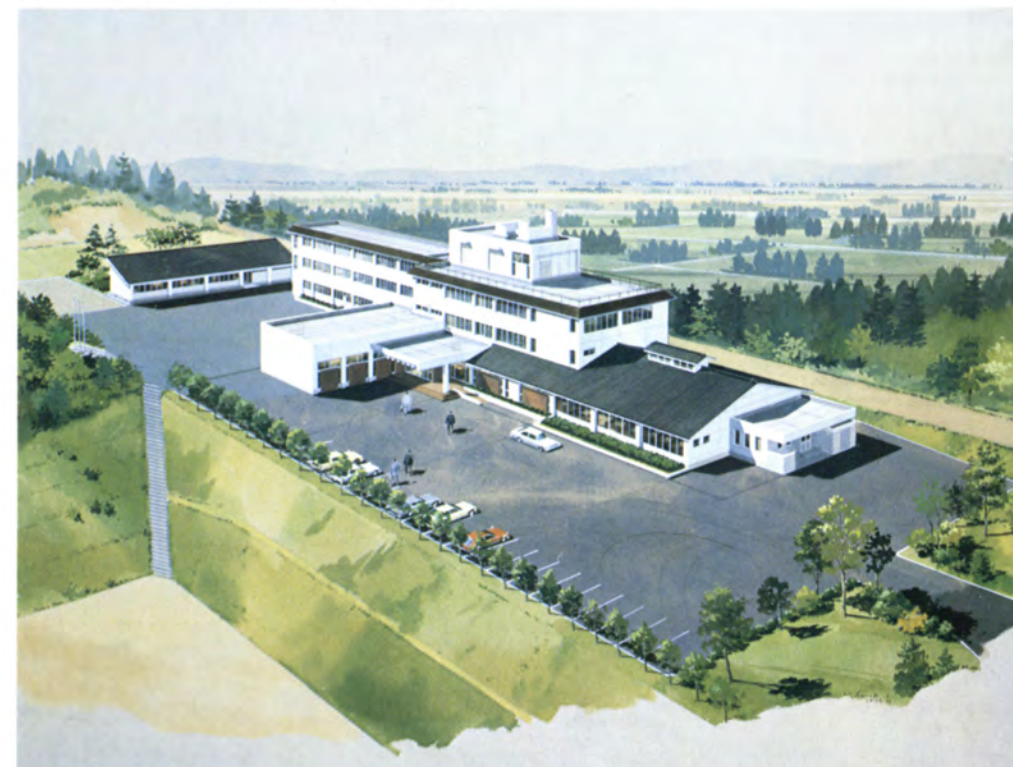




自然の中での学習は 人格形成のうえでも重要な要素=明るい表情でにぎわう二上青少年の家=

めまぐるしく揺れ動く今日的な社会情勢の中で若い世代は、ともすれば自己を見失い、安易で投げやりな生活に陥りやすいといわれます。  
 次代の郷土を託す若者達が、心身共にたくましく、豊かな国際的感覚を身につけて、大きく社会に羽ばたく環境をつくらなければなりません。  
 家庭、学校、社会が一体となって、魅力ある社会環境をつくり、若者が郷土に定着するよう努めることは、私たち大人の責務ではないでしょうか。

完成がまれる砺波青少年の家（55年8月開所予定）



完成がいそがれる  
 第2少年自然の家  
 （55年12月開所予定）



ここ岩瀬スポーツ公園では ひとつのボールを追って若い身体が躍動する 健全な心を支えるたくましい身体を持つ若者と いま 総合体育館構想もすすめられている



体力がない 気力がないという現代っ子の代名詞を返上



通年観光の場として整備がすすめられる立山山麓観光レクリエーション地域の中核 県営 Gondolaski 場はスキーのだいご味を求めて若者たちが集う

礼で始まり礼で終るという弓道の普及と競技水準の向上をはかるため 富山市茶屋町に弓道場が完成 日本古来の武道もスポーツとして いまや日常化がすすめられている



智 徳 体の調和のとれた児童生徒の育成を求めて創意工夫がこらされている ここ八尾高校では 豊かな人間づくりにとホーム・ルームの一環として茶道教室が開かれている



未来ある青年に国際的視野を広めてもらい あすの郷土を築く中堅青年を育てる青年の船は 若者の夢をのせて大浜原をすすむ



県内に住んだ先住民 どんな生活を営んだのだろうか 若い世代がふるさとの歴史や文化を正しく理解するためには 必ず通らなければならない道 それを理解するのが埋蔵文化財センター



アロサウルスの住む世界へ タイムトンネルを通して1億数千年前へ旅立つ  
思いの子供たち＝富山市科学文化センター＝